

里親家庭を募集しています

里親とは、さまざまな事情から、家庭で暮らすことができない子どもを家族の一員として迎え入れ、家庭の温もりの中で養育する人のことです。

主に、養育里親と養子縁組里親の2種類があり、研修や審査を受けた後、里親として登録されます。詳しくは県ホームページ(<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/kodomokatei/satooya/satooya.html>)をご覧ください。

●10月は里親月間です

里親には、短期間(数日~数週間程度)だけ養育する里親や、乳幼児期から長期(年単位)で養育する里親などさまざまな形があります。

今、家庭環境の変化や児童虐待などで、里親を必要とする子どもたちが増えています。多くの人に里親家庭として登録していただくことで、子どもたちの生活の場所の選択肢が広がります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

問 県中央子ども家庭相談センター

☎(562)1121 ㊟(565)7235

こども家庭相談課

☎(582)1159 ㊟(582)1138



ホームページ

第28回ふれあいもりやま展作品募集

差別をなくすために大切にしたいことなどをテーマにした作品を募集します。

募集期間：10月1日(月)~平成31年1月9日(水)

部門：写真、ポスター、四コマ漫画、詩、作文、標語・川柳、書道の部(各部門一人一点)

対 市内在住、在勤または在学の人

応募方法：電話、ファクス、メール、郵送(当日消印有効)または直接下記または各学区公民館へ。



※作品のサイズなど詳しくは、市ホームページまたは各学区公民館に設置の募集要項をご覧ください。

他 ふれあいもりやま展[平成31年2月14日(木)~21日(木)午前9時~午後5時(最終日は正午まで)]では入賞作品のみ展示します。

問 〒524-8585 吉身二丁目5-22

市まちづくり人権教育推進協議会事務局(人権教育課内)

☎(582)1167 ㊟(582)9441

✉jinkenkyoiku@city.moriyama.lg.jp



ホームページ

はなしのワネ

The Garden City
つなぐ、守山

*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。
小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

医療現場を辞めても医者はやめない

地域医療や市民の健康を守り続けて46年
市民病院初代院長、医師会会長など歴任



さ た け き さ お
佐竹 喜三雄さん

守山市民病院の初代院長を勤め、定年後は無医地区となっていた中洲学区の立田町に佐竹医院を開業。昭和47年に守山市民となってから46年間、市民と地域の健康を守り続けてきた佐竹 喜三雄さんが、学区をあげての慰労と歓待を受け、医療現場を勇退しました。

拠点病院の院長と開業医の両方を経験したことで「病診連携」を強く意識しました。その思いを胸に医療現場で活躍し、各役職を歴任してきました。

佐竹さんは現在84歳。高知県の高校球児から、京都大学医学部に進み、長年医療現場に立ち続けました。今はカメラやゴルフ、旅行など趣味を楽しんでいます。佐竹さんは「苦労はあるけれど患者さんの治癒という結果が返ってくるのが医師の甲斐。現場を辞めても医者はやめません。常に勉強していることで気持ちも若くいらるでしょう」と笑顔を見せていました。